2022年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 瀬戸商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる							業評	価									
7*1	李未恢文(月景 日町)	学 术大领	対象者		目 標①		目標②	2)	得られた効果			ABC	D評価				今後の展開・改善	基点等	備考	
	課題解決指導を最優先とし個々の事業所の経営能力のレベルアップをき	経営指導員個々が担当する業務の中 で組営業務での強みを活かした感 で観解決指導を行った。また、管内 回指導を行うにあたり指導員とに は関連区を決め、地域内の小規模事 業者の計画的な巡回を行った。	で、担当業務での強みを活かした課 題解決指導を行った。また、管内巡 回指導を行うにあたり指導員ごとに 担当地区を決め、地域内の小規模事		指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 154.3 %)	指標	課題解決			絵	a a	自己評価	事	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	_	
巡回・窓口相談指導事 業	め細か / 行ってい / また それい	- 巡回窓口指導実企業数 経営指導員5人 1,043社 (非会員202社) - 巡回窓口指導延件数 経営指導員5人 2,314社 (非会員368社)	小規模事業者						小規模事業者を直接訪問し経営 指導員がその事業所の内容をよ く把握し適切な経営指導ができ た。	合評価	A 評價 価の		調査結果 業者への	必要性		実施方法①	実施方法②	毎月巡回件数を確認し 目標達成に努力する。	5。 記対げ な把し ロの増度目実事更さ にも をス役に実特 者を 設数	
		·課題解決提案件数 経営指導員5人 65社 ·経営指導員5人 2件		目標 数値	1,500 実績 2,314 数値 2,314	数值	50 実 数値	養 65				А		А		現行どおり	現行どおり			
					記帳継続指導事業所数		記帳機械化	比事業所数	記帳継続指導と機械化指導の対			自己評価		満足度	補足	目標①	目標②		1	
記帳継続指導	小規模事業者を対象に日々の帳簿の 付け方から、年末調整、決算書、確 定申告書、消費税申告書の作成指導	・記帳継続指導 24事業所 ・記帳機械化指導 20事業所 ・指導延日数 187日	小規模事業者及び 税理士関与のない 事業所	指標	(達成度 109.1 %)	指相	(達成度 90.	9 %)	象者計50事業所について日々 の記帳から決算、申告までの指導を行った。1事業所あたり3 回以上対面形式で帳簿作成指導	部	事実 業旅	i A	調査結	А		上げる	下げる	会計ソフトを使って記 帳している事業所に対 しても指導範囲を広げ	†	
	を行う。	・指導延回数 369回		目標数値	字績 22 実績 24	目相数值	22 実績		を行った。市内の小規模事業者 に正しい記帳の仕方を指導し、 レベルアップに寄与した。	価	価の	目標達成度	果の	必要性		実施方法①	実施方法②	ි -		
				奴但	9X1E	剱1	数值	В	レベルドツノに奇手した。			A		Α		現行どおり	現行どおり		ــــــ	
	小規模事業者等に対して、必要な経 営知識を提供し資質向上と経営体質	・経営革新セミナー		指標	経営革新セミナー参加人数 (達成度 110.0 %)	指相	(達成度	%)	経営革新セミナーを開催するこ とにより小規模事業者が最新の	総合	事実業が	自己評価	調業	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	特に実施方法は変えない。	ズ検 型対ロ5 た特い コ応を年めにが サーマ・アー・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン	
講習会等	国知識を提供し質買用工と経営体質 の強化に資するために経営革新セミナーを実施する。	1回 11名 (小規模事業者以外 2名)	小規模事業者	目標	10 実績 11	目相	実終		知識を身につけ、経営体質強化 を図ることができた。	評価	A 評例		宣者	必要性		実施方法①	実施方法②	握し更に内容を検討し		
) 2 × 10 1 0 0			数值	数值	数值	数值	B		1881	1Ш 0.	, A	* o	Α		現行どおり		/// C E 10 0	ــــــ	
				指標	集団・個別参加人数	指相	指標					自己評価		満足度	補足	目標①	目標② 令和4年度は新型コロ			
	地域の小規模事業者等に対して、必				(達成度 260.4 %)		(達成度	%)	集団・個別講習会を開催するこ			A		Α	ł	下げる				
各種講習会・個別相談	要な経営知識を提供し資質向上と経 営体質の強化に資するために各種講	・講習会開催回数及び受講者数 集団 26回 1,917名	小規模事業者						とにより小規模事業者が最新の	総合	事実業施	口标准从及	調業者	必要性		実施方法①	実施方法②			
DIEST DE MINITES	習会を実施する。また、直面する 様々な経営課題に対し、マンツーマ ンで専門家による個別相談を行う。	個別 305回 635名 計 331回 2,552名	小观庆子来自	目標数値	980 実績 数値 2,552	実績 2,552 目標 実績 を図ることができた。 評価 部へ 果の		現行どおり		施方法は変えないが事 業所ニーズを把握し更 に内容を検討し充実さ										
	企業経営者(後継者等)、企業経営			指標	勉強会・研修会参加人数	+6+	満足原	を調査				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②			
	に携わる女性に対して、研修会等を	·青年部 勉強会 1回 27名、会	小規模事業者等を	担任	(達成度 53.6 %)	指相	(達成度 138	.6 %)	資質向上の研修会等を通じて自 己研鑚、組織運営の手法を学ぶ	総合	事実業が	В	調業	Α		現行どおり	現行どおり	青年部・女性会ともに		
若手後継者等育成事業	み、当所事業活動に積極的に参加・ 協力を通じ地域内の商工業の振興を	長研修会参加1回 3名 ・満足度調査 97%	中心とする青年部 会員	目標	実績 30	目相	70 実料		ことにより自社の活性化や地域 振興活性化につながった。	評価	A 評側 価の		結構を	必要性		実施方法①	実施方法②	自己研鑽にこれからも 努める。	充実さ	
	2 3.			数値	数値 30	数值	数值	直	2000	1944	im v.	В	~ o	А		現行どおり	現行どおり		igspace	
	地域のニーズや課題をビジネスとし て継続的に取り組む「地域ビジネ	・せと・しごと塾 受講者数 2.3		指標	せと・しごと塾開催回数	指相						自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	瀬戸市と協力し事業を		
	ス」の創業を瀬戸市内にて目指す方を対象に、地域ビジネスを創業する	名 座学 16日程度(1日3時間程		711104	(達成度 106.7 %)	781.5	(達成度	%)	座学と実学を行政、大学、金融 機関とともに連携して実施する	総合	事実業施		調業	Α		上げる		進める。地域ビジネス 色の濃い内容は、市役	:	
創業支援事業	ために必要となる知識等を学べる機会を提供することで、就業の1つであ	度) 個別相談 42回	小規模事業者等						ことにより、塾生の創業・経営 支援に取り組むことができた。	評価	A 評側 価の	日煙達成度	若る	必要性		実施方法①	実施方法②	一所まちづくり協働課に 案内し、本格的な創業	0	
	る起業を創出させる環境づくりを図 り、地域経済の発展に寄与する。	・せと創業くらぶ 登録者数 39 名		目標 数値 15 実績 数値 16			目標 数値 数値					А	ø	А		現行どおり		を目指す方の支援に特 化する。		
			専門家派遣実施回数							自己評価		満足度	補足	目標①	目標②		+			
	・専門家派遣 小規模事業者等の個社の状況にあわ			指標	(達成度 85.0 %)	指相	(達成度	%)	個社の事業計画策定やフォロー アップを実施。渋谷ヒカリエ展	総合	事実業が	_	調業	А		下げる		- 積極的に小規模事業者		
経営発達支援事業	せた事業計画策定等の支援を行うため、専門家派遣事業を実施する。	・専門家派遣開催回数 34回	小規模事業者	目標	実績	目相	実績	ā	一 示会に出展者を派遣し、売上目標を達成することができた。	評価	A 評側		結果	必要性		実施方法①	実施方法②	等の事業計画策定等を 支援していく。		
	777 477500002 7500 2500 7 00			数值	40 美報 34 数値 34	数值	数值		MC22/// 0 = 0 1 1 0 / 0 1	-	ΙШ 0.	В	~ o	Α		現行どおり				
	・個別相談			指標	個別相談開催回数 (達成度 113.3 %)	指相	(達成度	96)	新型コロナウイルス感染症等の 影響を受ける事業者の経営相談	総	事実	自己評価	調事	満足度 A	補足	目標①	目標②	引き続き相談窓口の設		
事業環境変化対応型支 援事業	応するため、各種制度への支援に関	·個別相談開催回数 51回	小規模事業者及び 中小企業者	目標	雷结	目相	実統		一	合評	A 業施 評側	目標達成度	査結へ	必要性		実施方法①	実施方法②	■置をしていくが、回数 を減らし、新たに講習		
	する個別相談を行う。			数値	数値 51	数值	数值	直	につながった。	価	価の	Α	果の	А		現行どおり		会を実施する。	<u> </u>	
	瀬戸市を代表する地場産業をPRす	・せと陶祖まつり 4月16日		指標	せと陶祖まつり祭来場者数 (達成度 125.0 %)	指相	せともの気 (達成度 113			絵	# #	自己評価	事	満足度 A	補足	目標①	目標②	地場産業である陶磁器		
地域産業祭事業	る産業祭である「せともの祭」「せ と陶祖まつり」を開催する。このイ ベントにより直接的(廉売市)な経	(土)、17日(日) 来場者数25,000名	小規模事業者及び			+			参加事業者の各個店の活性化、	<u>~</u>	A 業施 A 評側	目標達成度	研業 査者	必要性		実施方法①	実施方法②	関連業種を支援してい く大きなイベントであ リーキをに内容を充実	:	
	ベントにより直接的(廉売市)な経済的効果・間接的には全国的な知名 度アップにつなげる。	・せともの祭 9月10日(土)、1 1日(日) 来場者数340,000名	中小企業者	目標 数値	20,000 実績 数値 25,000	目札 数fi	300,000 実績数値		市内産業観光に貢献した。	価	語 の		相への	Α		現行どおり	現行どおり	り、さらに内容を充実 させていく必要があ る。		

[※] 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に〇を付しています。※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2022年度事業実績報告の概要 (小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 瀬戸商工会議所

事業名	事業概要 (背景・目的)	事業実績	主たる 対象者		目 標①		1	目	標(2)		事得られた効果	業 評 信	í	ABC	D評価		I		今後の展開・改善	香点等	備考
	消費者の生活形態の変化、郊外型大		7-2-05 EI	指標	商店街活性化事業	会議開催回数	指標		研修会開作	催回数	19 ジョルに刈木			自己評価	- TLIM	満足度	補足	目標①	目標②		unit 75
南作任任即本 世	型店等への購買力流出、新型コロナウイルス感染症対策など、地元商店	瀬戸市商店街連合会事業への協力定例打合せ会、各種会議等 14	小規模事業者を中	1日1示	(達成度 116.7	%)	1回1示	(達成度	(達成度 100.0 %)		商店街並びに商店主の意識高揚	総合・	事実業施	Α	調業査	А		現行どおり	現行どおり	瀬戸市商店街連合会と の連携により先進地視	!
商店街振興事業	街が抱える様々な経営課題解決に向け、瀬戸市商店街連合会との協力体制の下、地域の消費喚起などを図	回 ・視察研修会 1回	心とする市内商店 街	目標	12 実績	14	目標	1	実績	1	につながった。	証 語	評側価の		若への	必要性		実施方法①	実施方法②	察等の事業を実施し商 上海活性化に努める。	
	制の下、地域の消貨喚起などを図り、各種事業に取り組む。			数值	数值	14	数値		数値	'				А	0)	Α		現行どおり	現行どおり		
				指標	会議所ニュース	発行回数	指標	メールマ	マガジン	発行回数	当所が発行する「会議所ニュー			自己評価		満足度	補足	目標①	目標②		
	当所が発行する「会議所ニュース」 「メールマガジン」により小規模施			相無	(達成度 100.0	%)	1817	(達成度 100.0 %)		%)	ス」「メールマガジン」により 小規模施策・各種事業をPRし 小規模事業者の各種制度等を利	総	事実	А	調事	Α		現行どおり	現行どおり	- 会議所事業の周知・P	
情報収集提供事業	策・各種事業をPRし小規模事業者 の各種制度等の利用を勧奨する。ま	・会議所ニュース 年8回 ・メールマガジン 年24回	小規模事業者								■ 小規模事業者の各種制度等を利用をして頂き、事業所のレベル アップに寄与した。また、全戸	合 評 A	業施評側		査者	必要性		実施方法①	実施方法②	ー芸蔵所事業の周知・P Rをさらに積極的に行	
	た、働き方改革等の情報を当所ホー ムページ等で発信する。			目標 数値	8 実績 数値	8	目標 数値	24	実績 数値	24	配布版の会議所ニュースにより 会議所で行っている事業等を市 民に周知することができた。	価	価の	А	果の	А		現行どおり	現行どおり		
	異業種交流グループは参加各事業所				例会開催回	回数			ļ!	ļ				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②		
	が自主的かつ自由な異業種間の交流 活動を通して各々の潜在能力を啓発		中小・小規模事業	指標	(達成度 66.7	%)	指標	(達成度	Ē	96)	会員企業への情報提供や研修・ 勉強会を通して、自主的かつ自	総	事実	В	事	A		現行どおり		 例会(視察・勉強会 等)の開催について	
異業種交流事業	するとともに、共同研究及び共同開発を行うことにより、技術力及び経 営力の向上を図り、又は新しい事業	・役員会 3回 ・例会 2回	者を中心とする異 業種交流グループ			1			- 		由に交流活動を行い、お互いの 潜在能力を啓発し、会員企業が 新しい事業を創造し、更なる発	合 評	業施評側	目標達成度	査者 4	必要性		実施方法①	実施方法②	ーは、時節にあった内 容・テーマを検討して	視商。 P行 (**・***で・) 会 えに (・・/ 意検や 参 気 **** (*****************************
	当力の向上を図り、又は新しい事業 活動を創造することにより、参加企 業の発展と地域の振興に資すること		会員事業所	目標数値	実績 数値	2	目標 数値		実績 数値		展をとげ、企業経営の一助となった。	価	価の	С	果の	Δ		理伝じかけ		実施するように努め る。	
	を目的とする。													, ,		А		現行どおり			<u> </u>
	・地域商談会(尾張会場) 瀬戸市内の中小・小規模企業者を中 心とした企業が、受法機会の増大及 び新建取引先の情報交換を図るとと共古 を上向けり が、大きない。 で、フィー・ナー会が を対して、大きない。 で、フィー・ナー会が を対して、大きない。 で、フィー・ナー会が は、大きない。 で、フィー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・地域商談会 (尾張会場) 開催日 6月22日 (水) 商談会場 福沢市勤労福祉会館 参加企業 2社・アライアンス・パートナー発掘市 商談期間 7月4日 (月) ~7月8日 商談会場 名古屋商工会議所 4社 がエントリー・企業表見合い の高談時間 10月21日(金) 商談時間 10月21日(金) 商談時間 8治見市産業文化セン ター 参加企業 3社 「長」業展 高談期間 1月27日(金)、28日 (共) 商談会場 セラミックパークMINO 参加企業数 0社			参加企業	数								自己評価		満足度	補足	目標①	目標②		
			小規模事業者及び	指標																- 地域商談会(尾張会	1)
					(達成度 75.0 %)			(達成度 %)		%)				В		В		現行どおり		場) 地域の参加企業が増え ストラにPRを積極的に	
						1					・アライアンスパートナー発掘	60	* *		a					実施をしたい。 ・アライアンス・パー	実施をしたい。 ・アライアンス・パー
商談会事業				t							愛知県下の各地事業者の取引機会を増やすことができた。	総 合 評 B	事実業施評側	目標達成度	調業者	必要性		実施方法①	実施方法②	トナー発掘市 画談の機会を設けるイ	
的武巫学术			中小企業者	目標数値	12 実績 数値	9	目標数値		実績 数値		・企業表見合い 事業者の取引機会を増やすこと ができた。	価	価の	В	相果 への	A		現行どおり		ペントとして非常に意 義がある。PR方法を検 討して参加者数を増や したい。 ・企業 来見合い・ 「き」業展 PRを積極的に行い参 加者を募る。	
		・LOBO調査 毎月、モニター(2組合)に対し、 調査6項目、並びにその時期ごとに 付帯調査項目2~3について、前年			延調査件数 (LOBO調査) (達成度 100.0 %)			延調査件数 (景況調査)						自己評価		満足度	補足	目標①	目標②		
				指標			指標 (達成度 100.0 %)		0()								TE (* 17 45 11	TE (* 12 do 11	_・LOBO(早期景気 観測)調査 毎月の調査をモニター		
	全国の中小企業・小規模事業者の景	対比並びに向こう3ヶ月の見通しや 当面の経営上の問題等について調査	小規模事業者を中		(達成度 100.0	70)		(運成限	£ 100.0	70)	瀬戸市内の業界・業種ごとの企 業の景気動向を把握し、日本商 工会議所へ調査報告を行うこと	総合	事実業施	A	調業	А		現行どおり	現行どおり	(2) に対して確実 に、指定された期日に	
調査・広報事業	全国の中小企業・小規模事業者の景 況について調査を実施する。	を行い、日本商工会議所へ報告を 行った。 ・景況調査	心とする管内事業 所								工会議所へ調査報告を行うこと により、全国各地域の景気動向 を確認、把握することができ、	評価	果胞評側	目標達成度	量者 結果	必要性		実施方法①	実施方法②	実施する。 ・景況調査	
		四半期ごとにモニター50社に対し 売上等の調査項目ならびに新規設備		目標数値	実績 数値	24	目標数値	200	実績 数値	200	企業経営の一助となった。	-	,щ 07		ົ″ ຫ					四半期ごとの調査をモ ニター(50)に対し て確実に、指定された	
		投資の予定、直面している経営上の 問題点等について調査を行い、日本 商工会議所の報告を行った		奴1世	数1		奴1追		蚁旭		1			А		Α		現行どおり	現行どおり	期日に実施する。	
		商工会議所へ報告を行った。																			igspace
		・高等学校進路指導担当教諭対象の 地元企業見学会			意見交換会参	加者数		就職工	フェア来対	場者数				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	・意見交換会について は、採用予定がなくて	
		5月26日(木) 14校 17名 ・高等学校進路指導担当教諭と事業		指標			指標	五六											1	■もできるだけ情報交換 の場として参加してい ただけるよう積極的に	
	管内の企業が必要とする労働力の維持確保及び従業員の福祉と定着をはかり、もって産業経済の発展に寄与することを目的とする。	所との意見交換会 5月26日(木) 高校17校17名 企業45社45名 計62名 ・管内中学・高等学校進路担当教諭	ab11. +0 +# + au.		(達成度 124.0 %)			(達成度	₹ 86.7	%)		総	事実	Α	事業	Α		上げる	下げる	たたけるよう積極的に 参加要請していきた い。	
雇用促進事業			中小・小規模事業 者を中心とした管 内企業								ー中小・小規模事業者が必要とす る労働力の維持確保に貢献する ことができた。	総合 評価	業施評側	目標達成度	一 一 企 若 結	必要性		実施方法①	実施方法②	・就職フェア等については、学生の内定早期	
		との打合せ会・求人説明会 30名 ・就職フェア 8月17日(水) 85名	PIEX	目標	En 実績		目標	940	実績	200	ことかできた。		価の		果の				1	化の影響により求職者 の参加人数が減少傾向 にあるが、従来通り開	
		(一般67名、学生18名) ・地元企業就職フェア 2月23日 (木) 123名 (一般13名、学生110 名)		数値	50 美額 数値	62	数値	240	数値	208				А		А		現行どおり	現行どおり	催をし、雇用機会を創出することにより、地元企業の雇用を支援する。	ı

[※] 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に〇を付しています。※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2022年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 瀬戸商工会議所

団体名:	瀬戸商工会議所	-																		
事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者		目 標①		1	В	標②		事得られた効果	業評価		ABC	D輕価				今後の展開・改善	5点等
	・簿記、珠算 各種検定試験は会社運営や仕事上の	· 簿記、珠算 簿記 6月12日 (日)、11月20日 (日)、 2月26日 (日)	73.95 18	指標	各種検定実施		指標	ビジネスマ	マナーセ	者数	・簿記、珠算 市内小規模事業等の事業主、従 業員、将来を担う学生・生徒・			自己評価	*	満足度	補足	目標① 現行どおり	目標②	・検定のPRをし、各種 検定受検者を増やし事業者の能力アップを図
人材育成事業	基礎能力の向上に寄与する。 ・瀬戸・尾張旭雇用対策協議会 管内の企業が必要とする労働力の維	珠算 6月26日(日)、10月23日 (日)、 2月12日(日) ・瀬戸・尾張旭雇用対策協議会	小規模事業者及び 中小企業者及びそ の社員、市民								児童の各種能力アップにつな がった。 ・瀬戸・尾張旭雇用対策協議会	総 合 評	事実業施評側		調査結	必要性		実施方法①	実施方法②	る。 ・ビジネスマナーセミ ナーについては、対象 者を新入社員に限定せ
	持確保及び従業員の福祉と定着をは かり、もって産業経済の発展に寄与 することを目的とする。	ビジネスマナーセミナー 4月12日(火) 24名 労働請座 8月29日(月)、9月28 日(水)、10月31日(月)、12月16 日(金) 50名		目標数値	6 実績 数値	6	目標数値	40	実績 数値	74	企業が必要とする従業員のスキ ルアップ等により、経営体質の 強化を図ることができた。	価	価の	А	- 果の	А		現行どおり	現行どおり	ず、受講者を増やす。 労働講座についても ニーズに応じた内容で 受講者を増やす。
	A # 67 M # / (4 68 # #) A # 67 M	* F # WA		415.499	青年部会議開	催回数	Alc Ame	女性会	会議開作	催回数	総会・役員会・地域振興事業等			自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	
		・青年部 総会3回、役員会等24 回、例会4回、その他(委員会等)4	小規模事業者等を	指標	(達成度 102.6 %)		指標 (達成度 100.0 %)		%)	へ参加することにより、組織運 営等の手法を学び、各事業を実	総	事実	А	調業	Α		現行どおり	現行どおり	事業内容等について大 きな内容の変更はない	
青年部・女性会事業	開催し企業経営者として研鑽をつ み、当所事業活動に積極的に参加・	・女性会 総会1回、役員会等14	中心とする青年部 84名、女性会3	日標	実績		目標		実績		施する過程として企画から実現 までを経験できた。この経験	合 評 A	業施評側		省結合	必要性		実施方法①	実施方法②	が会員の地元貢献・自 己研鑽の意識向上に努
	協力を通じ地域内の商工業の振興を 図る。	回、例会10回、その他(委員会等) 15回	0名	数値	77 美積 数値	79	数値	40	数値	40	は、参加企業の経営力向上等に生かすことができた。	価	価の	А	果の	А		現行どおり	現行どおり	める。
	7部会(陶磁器・商業・建設・工業・ 窯業原料・サービス業・金融)、4委 員会(工業・商業・総務・産業観光) の開催により所属部を等の小規模事 業者のきめ細かいニーズの把握や発 展を図る。	・部会 2.1回 ・委員会 5回		指標	部会・委員会開催回数 (達成度 144.4 %)		指標				相互情報交換が可能となり、直	663	事事	自己評価	事	満足度	補足	目標①	目標②	
部会・委員会事業			小規模事業者	1H1#			111175	(達成度		%)	」あたりスムーズな運営を図るこ 合 ☆ 業施 A 査 ★ A		現行どおり		さらに充実した事業内 容にするためよく検討					
即五 · 安貝五平未			小戏侠争未有	目標	18 実績	26	目標		実績		とができた。また、事務局とし て市内事業所の各種ニーズ把握	評「	評側		結果へ	必要性		実施方法①	実施方法②	する。
				数值	数值		数値		数値		の場となった。			А	ø	Α		現行どおり		
	中小・小規模企業の福利厚生が不十 分であることが多しため、従業員の 雇用継続の一助となるべく共済制度 また、地域の中小・小規模事業者の 経営、雇用の特熱的なが安定を図るか、新型コロナワイルスクランの 職域接種等の実施に協力し、従業員 の健康維持に費する。	る。各種共済加入事業所総数1,423社 ・新型コロナワクチンの職域接種に ついて会員事業者への周知 ・新型コロナワクチンの職域接種に		指標	各種共済加入事業所総数		指標						自己評価		満足度	補足	目標①	目標②		
to the state of			小規模事業者及び	1H1#	(達成度 97.8	%)	THITE	(達成度		%)	市内小規模事業等の事業主、従	総 合 評 価	事実業施	В	事業	А		現行どおり		今後も積極的に加入促
福利厚生事業			中小企業者		pto Art						→ 業員等への福利厚生の一助となった。		A 評側 価の		者に	必要性		実施方法①	実施方法②	進を図っていく。
				目標 数値	1, 455 実績 数値	1, 423	目標 数値		実績 数値					В	* 0	А		現行どおり		
	労働保険(労災・雇用保険)の加入	131社		指標	受託、収納事業所数		指標	U					T	自己評価	a	満足度	補足	目標①	目標②	
W M M M A	手続きや保険料の申告納付、各種届		小規模事業者及び	4	(達成度 100.8	党度 100.8 %)		(達成度 %)		%)	 市内小規模事業者等の労働保険	総 合 .	事実業施	A 目標達成度	調業	A 必要性		現行どおり実施方法①	実施方法②	今後も労働保険の事務
労働保険事業	出に関する事務手続きを代行し、労働保険の適用促進と労働保険料の適 正な徴収を行う。		中小企業者	目標 数値	130 実績 数値	131	目標 数値		実績 数値		の事務手続きの一助となった。	i A 語	評側価の	LI WAE MADE	結果の	A		現行どおり	XIE/JIM®	- 手続きの一助となるように努める。
	・瀬戸市環境パートナーシップ事業 ***	・瀬川 ロ環境ハートナーシップ争業 者会議 会議教事会と総会等への参加 環境に関する事業への参加 環境に関する事業への参加 「環境にやさしい事業所認定制度」 の周知		指標		瀬戸市環境パートナーシップ 事業者会議会員		愛知県経営者協会瀬戸支部 支部例会開催回数 (達成度 100.0 %)			・瀬戸市環境パートナーシップ 事業所会議			自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	・瀬戸市環境パート
	者会議 瀬戸市が開催している瀬戸市環境 バートナーシップ事業者会議の幹事 として会議に出席。環境に関する情 報を得る。 ・愛知県経営常協会瀬戸支部 管内の中小・小規程企業の経営者及 が人事・労務管理信対して人事が 務問題に関する最新の情報を提供 し、企業の人材育成を支援する。			担保	(達成度 96.5	指標	事業所本職 環境に関する多くの情報を得る ことができ、当所が実施する事 業等を紹介する場所ともなり事			総	事実	В	事	А		現行どおり	現行どおり	□フップ事業有去職 環境問題に関する会議 に出席し市内事業者の ■指導の一環とする。来		
産業団体等指導事業			小規模事業者及び 中小企業者								業者の意見等を聞ける機会とも なった。	合 評 価	業施 評側 価の	目標達成度	査結果	必要性		実施方法①	実施方法②	□ 項とする。未 年度も同様に参加。 ・愛知県経営者協会瀬 □ 戸支部
				目標 数値	57 実績 数値	55	目標 数値	6	実績 数値	6	・愛知県経営者協会瀬戸支部 企業の人事労務管理の参考資料 の提供や情報交換により経営強 化を図ることができた。			В	ø	А		現行どおり	現行どおり	ー戸文部 今後もニーズに即した 人事労務問題の情報等 を提供する。

[※] 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に〇を付しています。※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。